

令和 2 年 6 月 11 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K03822

研究課題名(和文)現代中国映画産業の経済社会学：スタジオ間共同製作のネットワーク分析

研究課題名(英文)Economic Sociology of the Contemporary Chinese Film Industry: Network Analysis of Studio Co-Productions

研究代表者

中嶋 聖雄(Nakajima, Seio)

早稲田大学・国際学院(アジア太平洋研究科)・教授

研究者番号：70734325

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、「改革・開放期」(1978-)に生産された中国映画についての生産データ(単独スタジオ生産・共同製作の双方を含む)に関するデータベースを作成し、計量的ネットワーク分析の手法を用い、市場経済化にともなう、共同製作のネットワーク構造の変化・不変化を明らかにすることであった。ネットワーク分析の結果、経済社会学的アプローチが予測するような、「繰り返し共同」のかたちをとった市場の「社会的構造化」を示唆する結果が得られた。さらに、インタビュー、文献研究に基づく質的研究の結果、計量分析で示された「社会的構造化」に、国内の映画祭におけるフィルムマーケットが大きな役割を果たしていることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「改革・開放期」における中国映画の生産データ(単独スタジオ生産・共同製作の双方を含む)を収集し、ネットワーク分析を用い、市場経済化にともなう、共同製作のネットワーク構造の変化・不変化を明らかにしました。分析の結果、経営学・経済社会学的アプローチが主張するように、市場経済における生産ネットワークも、社会的権力(例えば、国有スタジオに対する政策上の優遇)や過去の取引の慣性的継続のような社会構造・メカニズムに影響を受けているという結果が得られました。本研究は、上記、学術的意義に加えて、今後、中国映画市場への展開を考えているメディア関連企業の経営戦略にも有用な知見を与えるという社会的意義を有します。

研究成果の概要(英文)：This project constructed a database of production organizations (film studios/production companies) for all films produced (or co-produced) in China using the data available in the China Film Yearbook (1979-2014). The database resulted in a longitudinal dataset. I first utilized the method of "network analysis" to construct various network variables. Then I investigated the evolution of these relationships using the method of longitudinal data analysis. The research found a significant number of repeat collaborations, which buttresses the economic sociological view of the "social structuration" of markets as actors mitigate uncertainty inherent in various exchanges. Based on interviews with film industry personnel, as well as qualitative analysis of available secondary data, the research found that activities such as film market in various Chinese film festivals play a significant role in producing the "social structuration" of film production market in contemporary China.

研究分野：社会学

キーワード：中国 映画 産業 経済社会学 文化社会学 ネットワーク

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

第73回アカデミー賞にて、外国語映画賞など四部門を受賞した『グリーン・デスティニー』(李安監督; 2000年; 台湾・香港・アメリカ・中国共同製作)あるいはまた、米国での公開第一週に全米興行成績第一位となった『HERO』(張芸謀監督; 2002年; 香港・中国共同製作)のような映画作品に代表されるように、中国映画産業は、2000年代初めより、世界の映画市場において、その役割を急速に拡大させつつあった。日本を含め諸外国における中国映画の興行的成功にともない、現代中国映画に関する学術的研究は増加していた。しかし、先行研究のほとんどすべてが人文学・映画論的アプローチによるテキスト分析であり、産業研究に関しては、質的データ・二次資料を用いた産業史的研究はいくつか存在するが(例えば、研究代表者の研究、Nakajima 2007; Nakajima 2009; Nakajima 2016; Zhu and Nakajima 2010など)信頼性の高い計量的データを用いた分析は皆無に等しかった。

2. 研究の目的

本研究の目的は、以下の四点に要約された。

- 1) まず、『中国電影年鑑』(映画に関する資料を集めた中国語年鑑)(1979~2014年の各年巻; いわゆる「改革・開放期」をカバー)から入手可能な、過去36年間に生産された中国映画(中華人民共和国の映画スタジオが製作にかかわった映画)についての生産データなどのスタジオが単独あるいは共同で映画を製作したかに関するデータベースを作成する。「改革・開放」初期の1980年代においても中国映画界においては、リスク分散のための(主に国内スタジオ間)共同製作が多く、特に過去20年間はほとんどが、香港・台湾・日本・韓国・アメリカ等、海外を含む複数スタジオ間の共同製作であるため、作成されるデータベースは、中国内外の映画スタジオから構成される、複雑なネットワーク・データベースとなる。
- 2) 次に、計量的ネットワーク分析の手法を用い、過去36年間の市場経済化にともなう、共同製作のネットワーク構造の変化・不変化を明らかにする。
- 3) また、ネットワーク分析から明らかになったネットワーク構造の変化・不変化が、現代中国映画産業、さらには現代中国経済および国際貿易全般の歴史的变化とどのように対応しているか(あるいはしていないか)を明らかにする。具体的には、映画製作に関わる政策上の変化、例えば、2003年から、映画を含む各産業分野において段階的に実施されている「中国本土・香港経済緊密化取り決め」(Mainland and Hong Kong Closer Economic Partnership; 通称CEPA;)や、より広範なマクロ経済指標の変化などを詳細に研究・リストアップし、それら政策上の変化とネットワーク構造の変化との間の対応・非対応を明らかにする。すなわち、上で言及した、研究代表者による、質的な産業史の先行研究と、計量的分析との統合をめざす。
- 4) さらに、中国映画産業組織内人員へのインタビューを行い、上記で把握したネットワーク構造の歴史的变化・不変化をスタジオ経営当事者の視点から理解することをめざす。より具体的には、各省に点在する「16社映画製作所体制」のなかからいわゆる「三大映画製作所」と呼ばれる北京映画製作所、上海映画製作所、長春映画製作所(それぞれ在北京・上海・長春)に焦点を絞り、特にスタジオ間共同に関わる意思決定を行う人物(多くの場合は映画製作所長)および関連各部署(主にプロダクション部門)の人々へのインタビューを行い、各スタジオの組織戦略とネットワーク構造との関連を把握する。

3. 研究の方法

研究の方法は、下記の四つのステップごとに、以下のように設定された。

ステップ1) 計量的ネットワーク・データベースの作成。適宜、データベース作成途中のデータを用いて、パイロット的にネットワーク分析を試行。

ステップ2) 計量的ネットワーク・データ分析。

ステップ3) 中国でのフィールドワーク：中国映画産業組織内人員へのインタビュー。

ステップ4) 計量的ネットワーク・データ分析の結果を、当該時期(1979~2014年)における映画政策やマクロ経済指標の変化と照合し、ネットワーク構造の変化・不変化の原因を探る。

4. 研究成果

本研究は、経営学及び経済社会学分野における、「市場経済化にともなう生産ネットワークの社会的構造化」の議論に貢献するものとなった。「新古典派経済学」によれば、現代中国におけるような市場移行期の生産ネットワークは、匿名の生産アクター(本研究においては映画スタジオ)による一回性の「非繰り返し共同」(non-repeat collaboration)に向かうとされる。他方、経営学・経済社会学的アプローチは、市場経済における生産ネットワークも、社会的権力(例えば、国有スタジオに対する政策上の優遇)や過去の取引の惰性的継続のような社会構造・メカニズムに「埋め込まれており」(embedded)(Granovetter 1985)、「繰り返し共同」(repeat collaboration)のかたちをとった市場の「社会的構造化」(Giddens 1984)が出現するものとみる。例えば、経営学・経済社会学者のエズラ・ザッカーマン(Zuckerman 2004)は、アメリカにおける「生産ネットワークの社会的構造化」(1933年~1995年)を、俳優・監督・プロデューサー間の複数映画における協働・共演のネットワーク・データから分析し、当該期間中、一貫してよりフレキシブルな市場原理に基づく契約システムが拡大しているにも関わらず、「繰り返し共同」(repeat collaboration)が維持されていることを明らかにしている。本研究は、基本的には経営学や経済社会学の分野で提唱されている「市場の構造化」の前提から出発しながらも、上記二つの仮説(新古典派経済学と経営学・経済社会学)を、計量分析・質的分析の統合によって検証することをめざした。なお、アメリカ映画産業における「市場の構造化」の議論は、入手可能な既存データの関係などから、映画産業で働く個人アクターに焦点を絞ったものがほとんどであるが(例えば、上記、ザッカーマンの研究やFaulkner and Anderson 1987)本研究は、より組織社会学的なアプローチからの産業分析をめざし、映画製作組織であるスタジオ間の共同に関するネットワーク・データベースを申請者自ら作成するため、中国映画産業の研究者だけでなく、より広く、アメリカや日本の映画産業を対象としている経営学・社会学的研究への組織論的示唆が期待された。

計量的ネットワーク・データ分析の結果、経済社会学的アプローチが予測するような、「繰り返し共同」のかたちをとった市場の「社会的構造化」社会的権力(例えば、国有スタジオに対する政策上の優遇)や過去の取引の惰性的継続のような社会構造の存在を示唆する結果が得られた。さらに、インタビュー、文献研究に基づく質的研究の結果、計量分析で示された「社会的構造化」に、国内の映画祭におけるフィルムマーケット(Nakajima 2019a)が大きな役割を果たしていることが明らかになった。さらに、研究開始当初には背景として十分に想定されていなかった、IT企業の映画製作への投資・参画も明らかになり(Nakajima 2019b)インターネット動画サイト等で配信される映画・コンテンツをも視野に入れて、中国映画産業研究を進めてゆく必要性が認識された。

引用文献

- Faulkner, Robert R., and Andy B. Anderson. 1987. "Short-Term Projects and Emergent Careers: Evidence from Hollywood." *American Journal of Sociology* 92:879-909.
- Giddens, Anthony. 1984. *The Constitution of Society: Outline of the Theory of Structuration*. Polity Press.
- Granovetter, Mark. "Economic Action and Social Structure: Problem of Embeddedness." *American Journal of Sociology* 91(3):481-510.
- 金光淳、2003、『社会ネットワーク分析の基礎：社会的関係資本論にむけて』、勁草書房。
- Nakajima, Seio. 2007. *The Chinese Film Industry in the Reform Era: Its Genesis, Structure, and Transformation Since 1978*. Ph.D. Dissertation, Department of Sociology, University of California, Berkeley.
- Nakajima, Seio. 2009. "Film as Cultural Politics." Pp. 159-183 in *Reclaiming Chinese Society: The New Social Activism*, edited by Ching Kwan Lee and You-tien Hsing. London: Routledge.
- Nakajima, Seio. 2016. "The Genesis, Structure and Transformation of the Contemporary Chinese Cinematic Field: Global Linkages and National Refractions." *Global Media and Communications*. 12(1): 85-108.
- Nakajima, Seio. 2019a. "Official Chinese Film Awards and Film Festivals: History, Configuration and Transnational Legitimation." *Journal of Chinese Cinemas* 13(3): 228-243.
- Nakajima, Seio. 2019b. "The Sociability of Millennials in Cyberspace: A Comparative Analysis of Nico Nico Douga and bilibili." Pp. 98-115 in *China's Youth Cultures and Collective Spaces: Creativity, Sociality, Identity and Resistance*, edited by Vanessa Frangville and Gwennaël Gaffric. London: Routledge.
- 安田雪、1997、『ネットワーク分析：何が行為を決定するのか』、新曜社。
- 中国電影年鑑社[編]、1979年～2014年各年巻、『中国電影年鑑』、中国電影年鑑社。
- Zhu, Ying, and Seio Nakajima. 2010. "The Evolution of Chinese Film as an Industry." Pp. 17-33 in *Art, Politics, and Commerce in Chinese Cinema*, edited by Ying Zhu and Stanley Rosen. Hong Kong: Hong Kong University Press.
- Zuckerman, Ezra. 2004. "Do Firms and Markets Look Alike?: Repeat Collaboration in the Feature film Industry, 1933-1995." Unpublished manuscript.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 1件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Nakajima, Seio	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Official Chinese Film Awards and Film Festivals: History, Configuration and Transnational Legitimation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Chinese Cinemas	6. 最初と最後の頁 228-243
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.1080/17508061.2019.1678498	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 598
2. 論文標題 国際派中国映画の変遷 『第五世代』映画監督作品の変遷	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 601
2. 論文標題 中国インディペンデント映画のカットニング・エッジ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 604
2. 論文標題 現代中国映画のダイナミズムを理解するために	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nakajima, Seio	4. 巻 12(1)
2. 論文標題 The Genesis, Structure and Transformation of the Contemporary Chinese Cinematic Field; Global Linkages and National Refractions	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Global Media and Communication	6. 最初と最後の頁 85-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.1177/1742766515626831	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 595
2. 論文標題 国際派中国映画の原点： 「第五世代」映画監督登場の衝撃	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 592
2. 論文標題 中国商業映画の新潮流 2： ファン映画の登場	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 86-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 589
2. 論文標題 中国商業映画の新潮流 1	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 80-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中嶋 聖雄	4. 巻 586
2. 論文標題 中国映画と政治	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 82-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計11件 (うち招待講演 7件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 Nakajima, Seio
2. 発表標題 The Sociability of Millennials in Cyberspace: A Comparative Study of Barrage Subtitling in Nico Nico Douga and Bilibili
3. 学会等名 Book Launch Symposium on China's Youth Culture and Collective Spaces: Creativity, Sociality, Identity and Resistance (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Studies of Chinese Cinema in Japan
3. 学会等名 Chinese Cinema and Chinese Film Studies from Global Perspectives. Institute of Chinese Cinema Studies Advanced Innovation Center for Future Visual Entertainment, Beijing Film Academy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Film Festivals and Film Awards in China: History, Configuration, and the Transnational Field of Legitimation
3. 学会等名 XIX International Sociological Association World Congress of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Mapping the Transnational Genesis of the Post-War Japanese Cinematic Field: Case Studies of the Productions of Madame White Snake (1956) and Legend of the White Snake (1958)
3. 学会等名 2017中外影視製合作高級研修班(北京)(招待講演)(國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ran Ma, Seio Nakajima, and Lydia Wu
2. 発表標題 Re-imagining Politics: A Manifesto and a Closing-down
3. 学会等名 "Ubiquitous Cinema - Education, Mobility, and Storytelling in the Digital Age" (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Mapping the Transnational Genesis of the Post-War Japanese Cinematic Field: Case Studies of the Productions of Madame White Snake (1956) and Legend of the White Snake (1958)
3. 学会等名 2017中外影視製合作高級研修班(上海)(國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Cosmopolitanism and Hegemony: The Manchurian Motion Picture Corporation and the Production of My Nightingale (1943)
3. 学会等名 American Sociological Association Annual Meeting (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seio Nakajima
2. 発表標題 Official Chinese Film Awards and Film Festivals: History, Configuration, and Legitimation in the midst of Globalization
3. 学会等名 "NTU-King 's College London Joint International Conference Chinese Film Market and Asian Cinema" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中嶋 聖雄
2. 発表標題 現代中国社会と映画
3. 学会等名 早稲田エクステンションスクール中野校 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 中嶋 聖雄
2. 発表標題 国際戦略としてのソフト・パワー： 日・中・韓比較考察
3. 学会等名 早稲田エクステンションスクール早稲田校 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nakajima, Seio
2. 発表標題 Soft Power in East Asia: History, Policies, and Practices
3. 学会等名 EU-Japan Forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----